

平成元年度 社会保障給付費

社会保障給付費は、ILO の基準に従い、国内の社会保障各制度の給付費について、毎年度の決算をもとに推計したものである。この推計は厚生省の委託を受けて本研究所が実施した。
(社会保障研究所)

I 社会保障給付費の範囲

1. 社会保障給付費の範囲は、ILO（国際労働機関）が国際比較上定めた社会保障の基準に基づいて決定されている。

ILO では、社会保障の基準を次のように定めている。すなわち、以下の3基準を満たすすべての制度を社会保障制度と定義する。

- ① 制度の目的が、治療的または予防的医療を提供するもの、所得保障を行うもの、あるいは扶養家族に対して補足的給付を提供するものであること。
- ② 制度が法律によって定められ、それによって特定の個人に権利が付与され、あるいは公的、準公的、もしくは独立の機関に特定の責任が課せられるものであること。
- ③ 制度が公的、準公的、もしくは独立の機関によって管理されていること。

ただし、業務災害補償は、その責任が直接事業に課せられているので、上記③を満たさないが社会保障に含める。

上記の基準に従えば社会保障制度として、社会保険制度（雇用保険や労働者災害補償保険を含む）、家族手当制度、公務員に対する特別制度、公衆衛生サービス、公的扶助、社会福祉制度、戦争犠牲者に対する給付などが含まれる。

注）ILO に対する報告は3年毎に行っている。
直近では、平成元年9月に昭和59～61年度分を報告した。

2. 社会保障給付費の「医療」、「年金」、「その

他」別分類は次のとおりである。

「医療」には、医療保険、老人保健の医療給付、生活保護の医療扶助、労災保険の医療給付、結核、精神その他の公費負担医療、保健所等が行う公衆衛生サービスに係る費用等が含まれる。

「年金」には、厚生年金、国民年金等の公的年金、恩給及び労災保険の年金給付等が含まれる。

「その他」には、生活保護の医療扶助以外の各種扶助、児童手当等の各種の手当、施設措置費等社会福祉サービスに係る費用、医療保険の傷病手当金、労災保険の休業補償給付、雇用保険の失業給付等が含まれる。

II 平成元年度社会保障給付費 推計結果の概要

1. 平成元年度の社会保障給付費の総額は、44兆6,404億円であり、これを「医療」、「年金」及び「その他」の部門別構成割合でみると、「年金」が社会保障給付費の50.9%を占め、前年度に比べさらに増大した。
 - (1) 国民1人当たり社会保障給付費は36万2,200円であり、1世帯当たりでは112万3,900円と、100万円を超える社会保障給付がなされている。
 - (2) 部門別社会保障給付費をみると、「医療」が17兆3,713億円(38.9%)、「年金」が22兆7,231億円(50.9%)、「その他」が4兆5,459億円(10.2%)である。
 - (3) 平成元年度社会保障給付費の対前年度伸び率は5.6%であり、対国民所得比は14.02%で

表 1 部門別社会保障給付費の前年度との比較

社会保障給付費	昭和63年度	平成元年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
計	422,777 (100.0)	446,404 (100.0)	23,627	5.6
医 療	165,303 (39.1)	173,713 (38.9)	8,410	5.1
年 金	212,107 (50.2)	227,231 (50.9)	15,125	7.1
そ の 他	45,367 (10.7)	45,459 (10.2)	92	0.2

(注) () 内は構成割合である。

表 2 部門別社会保障給付費（対国民所得比）の前年度との比較

社会保障給付費	昭和63年度	平成元年度	対前年度増加分
計	14.12 %	14.02 %	△0.100 %ポイント
医 療	5.52	5.46	△0.065
年 金	7.09	7.14	0.053
そ の 他	1.52	1.43	△0.087

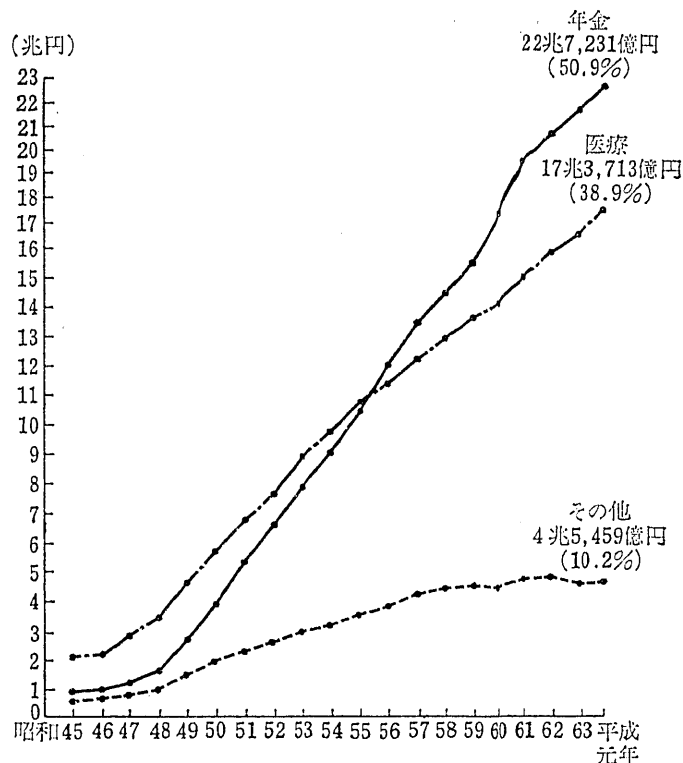


図 1 社会保障給付費の部門別推移

あった。

表 3 1人（世帯）当たり社会保障給付費の前年度との比較

社会保障給付費	昭和63年度	平成元年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
1人当たり	344.3 千円	362.2 千円	17.9	5.2
1世帯当たり	1,074.9	1,123.9	49.0	4.6

2. 年金保険給付費、老人保健（医療分）給付費、老人福祉サービス給付費を合わせた高齢者関係給付費は、平成元年度は26兆1,474億円となり、その伸び率8.2%は社会保障給付費の伸び率5.6%を上回っている。

表 4 高齢者関係給付費の前年度との比較

	昭和63年度	平成元年度	対前年度伸び率
社 会 保 障 給 付 費	422,777 億円	446,404 億円	5.6 %
年 金 保 険 給 付 費	187,219 億円	202,638 億円	8.2 %
老人保健(医療分)給付費	49,824	53,730	7.8
老人福祉サービス給付費	4,569	5,106	11.8
計	241,612 (57.1)	261,474 (58.6)	8.2
60歳以上人口	2,011 万人	2,088 万人	3.9 %
65歳以上人口	1,378	1,431	3.8
70歳以上人口	917	941	2.6
75歳以上人口	548	575	4.9

(注1) () 内は社会保障給付費に占める割合である。

(注2) 老人福祉サービス給付費は、老人保護関係給付費及び在宅福祉サービス関係給付費からなる。

参考 社会保障給付費の国際比較

表 5 社会保障給付費、租税・社会保障負担率等の国際比較

(単位：%)

国名		社会保障給付費 の対国民所得比 1986年	老年人口比率 (65歳以上 人口比率) 1986年	租税・社会保障負担の対国民所得比 1986年		
				租 税 負 担	社会保障負担	計
日 本		14.3%	10.6%	25.0%	10.7%	35.7%
	1989年	14.0	11.6	27.9	10.8	38.7
ア メ リ カ		15.2	12.1	25.7	10.1	35.8
イ ギ リ ス		25.0	15.3	41.5	11.4	52.9
旧 西 ド イ ツ		29.1	15.1	30.0	22.4	52.4
フ ラ ン ス		36.1	13.1	33.6	27.8	61.4
ス ウ ェ ー デ ン		39.7	18.1	53.2	19.0	72.2

(単位：%)

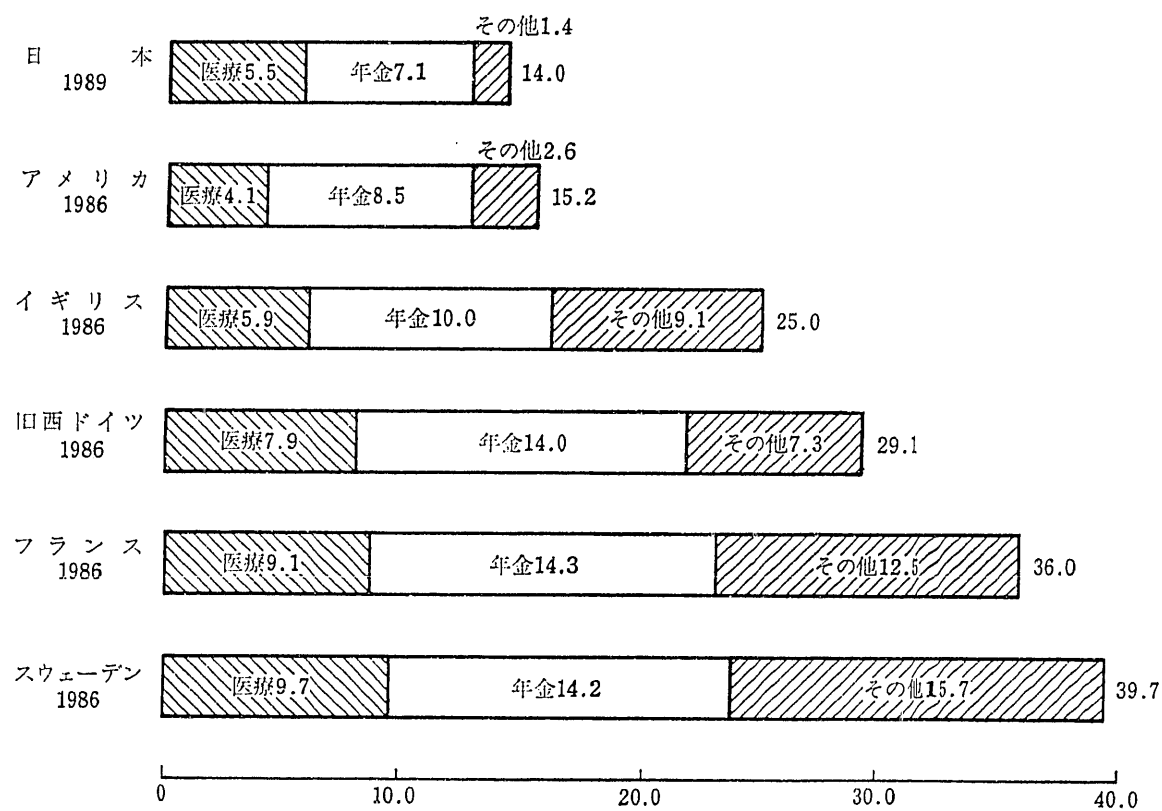
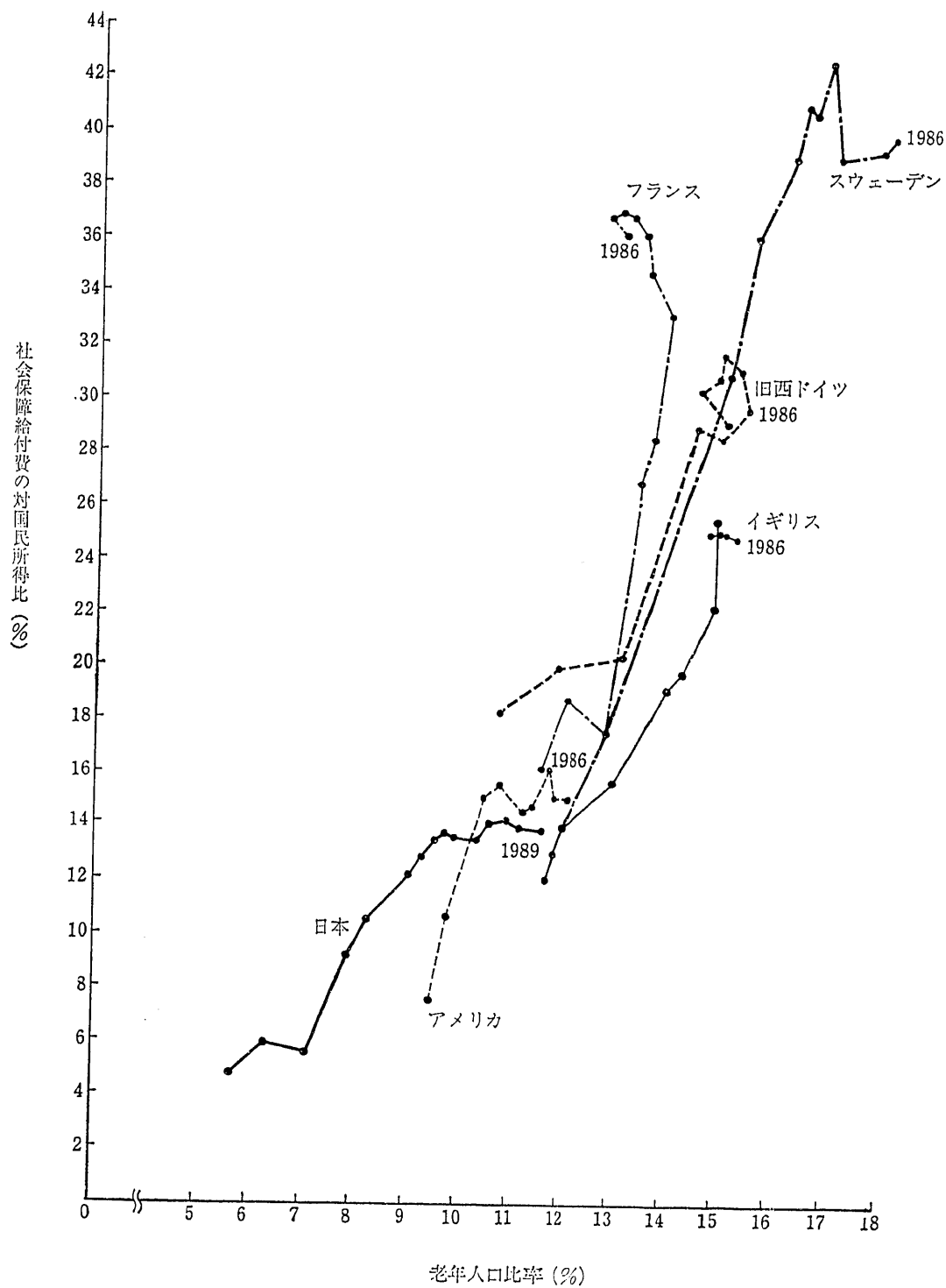


図 2 社会保障給付費（対国民所得比）の部門別構成割合の国際比較



Ⅲ 統 計 表

第1表 社会保障給付費の部門別推移

年 度	社 会 保 障 給 付 費					国民所得 (億円)		
	総 数 (億円)	医 療 (億円)	構 成 割 合 (%)	年金・その他 (億円)	構 成 割 合 (%)			
昭和25(1950)	1,261	646	51.2	615	48.8	…		
26(1951)	1,571	804	51.1	768	48.9	44,346		
27(1952)	2,194	1,149	52.3	1,046	47.7	52,159		
28(1953)	2,577	1,480	57.5	1,096	42.5	60,015		
29(1954)	3,841	1,712	44.6	2,129	55.4	65,917		
30(1955)	3,893	1,919	49.3	1,974	50.7	69,733		
31(1956)	3,986	2,018	50.6	1,969	49.4	78,962		
32(1957)	4,357	2,224	51.0	2,133	49.0	88,681		
33(1958)	5,080	2,099	41.3	2,981	58.7	93,829		
34(1959)	5,778	2,523	43.7	3,255	56.3	110,421		
35(1960)	6,553	2,942	44.9	3,611	55.1	134,967		
36(1961)	7,900	3,850	48.7	4,050	51.3	160,819		
37(1962)	9,219	4,699	51.0	4,520	49.0	178,933		
38(1963)	11,214	5,885	52.5	5,329	47.5	210,993		
				年 金 (億円)	構 成 割 合 (%)	そ の 他 (億円)	構 成 割 合 (%)	
39(1964)	13,475	7,328	54.4	3,056	22.7	3,091	22.9	240,514
40(1965)	16,037	9,137	57.0	3,508	21.9	3,392	21.2	268,270
41(1966)	18,670	10,766	57.7	4,199	22.5	3,705	19.8	316,448
42(1967)	21,644	12,583	58.1	4,947	22.9	4,114	19.0	375,477
43(1968)	25,096	14,679	58.5	5,835	23.3	4,582	18.3	437,209
44(1969)	28,732	16,974	59.1	6,583	22.9	5,174	18.0	521,178
45(1970)	35,239	20,758	58.9	8,562	24.3	5,920	16.8	610,297
46(1971)	39,670	22,498	56.7	10,167	25.6	7,005	17.7	659,105
47(1972)	48,937	27,938	57.1	12,341	25.2	8,658	17.7	779,369
48(1973)	61,152	33,726	55.2	16,728	27.4	10,698	17.5	958,396
49(1974)	88,894	46,918	52.8	26,740	30.1	15,236	17.1	1,124,716
50(1975)	116,726	56,881	48.7	38,865	33.3	20,981	18.0	1,239,907
51(1976)	144,828	67,862	46.9	53,430	36.9	23,535	16.3	1,403,972
52(1977)	168,462	75,755	45.0	65,993	39.2	26,715	15.9	1,557,032
53(1978)	197,213	88,661	45.0	78,538	39.8	30,014	15.2	1,717,785
54(1979)	219,066	97,115	44.3	89,987	41.1	31,964	14.6	1,822,066
55(1980)	246,044	106,582	43.3	104,709	42.6	34,753	14.1	1,995,902
56(1981)	273,578	114,424	41.8	120,616	44.1	38,539	14.1	2,097,489
57(1982)	299,489	122,982	41.1	134,115	44.8	42,391	14.2	2,193,918
58(1983)	319,016	129,931	40.7	144,966	45.4	44,120	13.8	2,308,057
59(1984)	335,794	134,335	40.0	155,567	46.3	45,891	13.7	2,436,089
60(1985)	356,440	141,550	39.7	170,170	47.7	44,720	12.5	2,595,898
61(1986)	385,886	150,702	39.1	188,806	48.9	46,378	12.0	2,693,947
62(1987)	406,546	158,573	39.0	201,331	49.5	46,643	11.5	2,817,375
63(1988)	422,777	165,303	39.1	212,107	50.2	45,367	10.7	2,993,566
平成元(1989)	446,404	173,713	38.9	227,231	50.9	45,459	10.2	3,183,424

(注) 四捨五入の関係で総数に一致しない場合がある。

資料 国民所得は、昭和29年度以前は、経済企画庁「昭和53年版国民所得統計年報」、昭和30～44年度は、同「長期週及推計国民経済計算報告」、昭和45年度以後は、同「平成3年版国民経済計算年報」による。

第2表 社会保障給付費(対国民所得比)の部門別推移

(単位: %)

年 度	社 会 保 障 給 付 費			
	総 数	医 療	年金	その他
昭和25(1950)	...	...	...	...
26(1951)	3.54	1.81	1.73	
27(1952)	4.21	2.20	2.00	
28(1953)	4.29	2.47	1.83	
29(1954)	5.83	2.60	3.23	
30(1955)	5.58	2.75	2.83	
31(1956)	5.05	2.56	2.49	
32(1957)	4.91	2.51	2.41	
33(1958)	5.41	2.24	3.18	
34(1959)	5.23	2.28	2.95	
35(1960)	4.86	2.18	2.68	
36(1961)	4.91	2.39	2.52	
37(1962)	5.15	2.63	2.53	
38(1963)	5.31	2.79	2.53	
39(1964)	5.60	3.05	1.27	1.29
40(1965)	5.98	3.41	1.31	1.26
41(1966)	5.90	3.40	1.33	1.17
42(1967)	5.76	3.35	1.32	1.10
43(1968)	5.74	3.36	1.33	1.05
44(1969)	5.51	3.26	1.26	0.99
45(1970)	5.77	3.40	1.40	0.97
46(1971)	6.02	3.41	1.54	1.06
47(1972)	6.28	3.58	1.58	1.11
48(1973)	6.38	3.52	1.75	1.12
49(1974)	7.90	4.17	2.38	1.35
50(1975)	9.41	4.59	3.13	1.69
51(1976)	10.32	4.83	3.81	1.68
52(1977)	10.82	4.87	4.24	1.72
53(1978)	11.48	5.16	4.57	1.75
54(1979)	12.02	5.33	4.94	1.75
55(1980)	12.33	5.34	5.25	1.74
56(1981)	13.04	5.46	5.75	1.84
57(1982)	13.65	5.61	6.11	1.93
58(1983)	13.82	5.63	6.28	1.91
59(1984)	13.78	5.51	6.39	1.88
60(1985)	13.73	5.45	6.56	1.72
61(1986)	14.32	5.59	7.01	1.72
62(1987)	14.43	5.63	7.15	1.66
63(1988)	14.12	5.52	7.09	1.52
平成元(1989)	14.02	5.46	7.14	1.43

第3表 社会保障給付費と国民所得の対前年度伸び率の推移

(単位: %)

年 度	社 会 保 障 給 付 費				国民所得
	総 数	医 療	年 金	その他	
昭和25(1950)	...	...	...	...	...
26(1951)	24.6	24.4	24.8	...	...
27(1952)	39.7	42.9	36.2	...	17.6
28(1953)	17.4	28.9	4.8	...	15.1
29(1954)	49.1	15.6	94.2	...	9.8
30(1955)	1.4	12.1	△7.3	...	5.8
31(1956)	2.4	5.1	△0.3	...	13.2
32(1957)	9.3	10.2	8.3	...	12.3
33(1958)	16.6	△5.6	39.8	...	5.8
34(1959)	13.8	20.2	9.2	...	17.7
35(1960)	13.4	16.6	10.9	...	22.2
36(1961)	20.6	30.9	12.2	...	19.2
37(1962)	16.7	22.0	11.6	...	11.3
38(1963)	21.6	25.2	17.9	...	17.9
39(1964)	20.2	24.5	15.3	...	14.0
40(1965)	19.0	24.7	14.8	9.7	11.5
41(1966)	16.4	17.8	19.7	9.2	18.0
42(1967)	15.9	16.9	17.8	11.1	18.7
43(1968)	16.0	16.7	18.0	11.4	16.4
44(1969)	14.5	15.6	12.8	12.9	19.2
45(1970)	22.6	22.3	23.8	22.3	17.1
46(1971)	12.6	8.4	18.7	18.3	8.0
47(1972)	23.4	24.2	21.4	23.6	18.2
48(1973)	25.0	20.7	35.5	23.6	23.0
49(1974)	45.4	39.1	59.9	42.4	17.4
50(1975)	31.3	21.2	45.3	37.7	10.2
51(1976)	24.1	19.3	37.5	12.2	13.2
52(1977)	16.3	11.6	23.5	13.5	10.9
53(1978)	17.1	17.0	19.0	12.3	10.3
54(1979)	11.1	9.5	14.6	6.5	6.1
55(1980)	12.3	9.7	16.4	8.7	9.5
56(1981)	11.2	7.4	15.2	10.9	5.1
57(1982)	9.5	7.5	11.2	10.0	4.6
58(1983)	6.5	5.6	8.1	4.1	5.2
59(1984)	5.3	3.4	7.3	4.0	5.5
60(1985)	6.1	5.4	9.4	△2.6	6.6
61(1986)	8.3	6.5	11.0	3.7	3.8
62(1987)	5.4	5.2	6.6	0.6	4.6
63(1988)	4.0	4.2	5.4	△2.7	6.3
平成元(1989)	5.6	5.1	7.1	0.2	6.3

第4表 1人当たり社会保障給付費と1人当たり国民所得の推移

年 度	1人当たり 社会保障給付費		1人当たり 国民所得	
	実 額 (千円)	指 数 (48年=100)	実 額 (千円)	指 数 (48年=100)
昭和25(1950)	...	...	...	...
26(1951)	1.9	3.4	52.5	6.0
27(1952)	2.6	4.6	60.8	6.9
28(1953)	3.0	5.4	69.0	7.8
29(1954)	4.4	7.9	74.7	8.5
30(1955)	4.4	7.9	78.2	8.9
31(1956)	4.4	7.9	87.6	10.0
32(1957)	4.8	8.6	97.6	11.1
33(1958)	5.5	9.8	102.3	11.6
34(1959)	6.2	11.1	119.2	13.6
35(1960)	7.0	12.5	144.5	16.4
36(1961)	8.4	15.0	170.6	19.4
37(1962)	9.7	17.3	188.1	21.4
38(1963)	11.7	20.9	219.5	25.0
39(1964)	13.7	24.5	247.6	28.2
40(1965)	16.3	29.1	273.2	31.1
41(1966)	18.7	33.4	319.6	36.4
42(1967)	21.4	38.2	375.0	42.7
43(1968)	24.5	43.7	431.7	49.1
44(1969)	28.0	50.0	508.7	57.9
45(1970)	33.7	60.2	586.0	66.7
46(1971)	37.4	66.8	621.7	70.7
47(1972)	45.5	81.3	724.9	82.5
48(1973)	56.0	100.0	879.1	100.0
49(1974)	80.4	143.6	1,018.1	115.8
50(1975)	104.3	186.3	1,108.7	126.1
51(1976)	128.1	228.8	1,242.4	141.3
52(1977)	147.6	263.6	1,364.7	155.2
53(1978)	171.2	305.7	1,492.2	169.7
54(1979)	188.6	336.8	1,569.6	178.5
55(1980)	210.2	375.4	1,706.1	194.1
56(1981)	232.0	414.3	1,780.1	202.5
57(1982)	252.2	450.4	1,848.9	210.3
58(1983)	266.9	476.6	1,931.9	219.8
59(1984)	279.1	498.4	2,026.0	230.5
60(1985)	294.5	525.9	2,145.9	244.1
61(1986)	317.2	566.4	2,215.3	252.0
62(1987)	332.5	593.8	2,305.7	262.3
63(1988)	344.3	614.8	2,439.6	277.5
平成元(1989)	362.2	646.8	2,584.3	294.0

第5表 高齢者関係給付費の推移

年 度	年金保険給付費	老人保健（医療分）給付費	老人福祉サービス給付費	計			社会保険給付費	
					対前年度率 伸び	給付費に 占める割合		対前年度率 伸び
	億円	億円	億円	億円	%	%	億円	%
昭和48(1973)	10,769	4,289	596	15,654	...	25.60	61,152	...
49(1974)	19,231	6,652	877	26,760	70.9	30.10	88,894	45.4
50(1975)	29,045	8,666	1,164	38,875	45.3	33.30	116,726	31.3
51(1976)	40,820	10,780	1,489	53,089	36.6	36.66	144,828	24.1
52(1977)	50,984	12,872	1,798	65,654	23.7	38.97	168,462	16.3
53(1978)	61,392	15,948	2,060	79,400	20.9	40.26	197,213	17.1
54(1979)	70,965	18,503	2,306	91,774	15.6	41.89	219,066	11.1
55(1980)	83,766	21,269	2,560	107,595	17.2	43.73	246,044	12.3
56(1981)	98,011	24,280	2,822	125,113	16.3	45.73	273,578	11.2
57(1982)	110,187	27,450	3,129	140,766	12.5	47.00	299,489	9.5
58(1983)	120,905	32,660	3,306	156,871	11.4	49.17	319,016	6.5
59(1984)	131,459	35,534	3,467	170,460	8.7	50.76	335,794	5.3
60(1985)	145,729	40,070	3,668	189,467	11.2	53.16	356,440	6.1
61(1986)	164,008	43,584	4,075	211,667	11.7	54.85	385,886	8.3
62(1987)	176,218	46,638	4,278	227,134	7.3	55.87	406,546	5.4
63(1988)	187,219	49,824	4,569	241,612	6.4	57.15	422,777	4.0
平成元(1989)	202,638	53,730	5,106	261,474	8.2	58.57	446,404	5.6

第6表 ILO 基準による平成元年度社会保障費用

(単位: 百万円)

収 入										収入合計
拠 出	社会保険 特別税	国庫負担	他の公費負担	資産収入	そ の 他	小 計	他制度から の移転			
								被保険者	事業主	
社 会 保 険										
1. 健康保険	2,032,372	2,053,247	—	710,749	19,825	18,208	4,834,400	1,767	4,836,167	
(A)政府管掌健康保険	1,713,318	2,272,053	—	12,510	163,229	236,152	4,397,261	—	4,397,261	
(B)国民健康保険	2,637,463	—	—	2,539,913	416,645	347,591	5,941,613	549,005	6,490,617	
2. 国民健康保険 退職者医療制度(再掲)	299,586	—	—	—	—	—	299,586	549,005	848,591	
3. 老人保健	—	—	—	1,084,312	539,896	—	—	—	—	
4. 厚生年金保険	5,245,497	5,245,497	—	1,730,296	—	27,618	1,624,208	3,799,933	5,424,140	
5. 厚生年金基金等	452,015	1,270,673	—	560	—	34	16,164,853	1,819,436	17,984,289	
6. 国民年金基金	1,284,127	—	—	1,526,858	—	870,052	3,178,699	—	3,178,699	
7. 農業者年金基金	72,796	—	—	102,947	—	—	3,898,026	4,390,333	8,288,359	
8. 船員保険	28,767	66,980	—	9,226	—	—	208,130	—	208,130	
9. 農林漁業団体職員共済組合	89,545	89,545	—	37,083	—	1,089	108,347	—	108,347	
10. 私立学校教職員共済組合	114,794	112,231	—	21,962	7,191	4,368	308,368	26,865	335,233	
11. 雇用保険	659,284	1,079,999	—	249,766	—	422	352,055	29,021	381,076	
12. 労働者災害補償保険	—	1,377,715	—	1,307	—	9,752	2,106,804	—	2,106,804	
家族手当	—	—	—	—	—	691,191	2,070,213	—	2,070,213	
13. 児童手当	—	104,818	—	34,800	14,984	35,411	190,013	—	190,013	
公 務 員										
14. 国家公務員等共済組合	458,810	1,046,395	—	74,356	—	3,639	1,925,017	136,925	2,061,942	
(A)国家公務員共済組合	234,056	944,778	—	—	—	935	1,306,467	117,354	1,423,821	
(B)旧公共企業体職員等共済組合	1,279,982	2,852,423	—	—	178,734	6,891	5,393,007	268,935	5,661,942	
15. 地方公務員等共済組合	—	2,286	—	19,911	—	—	22,281	—	22,281	
16. 旧令共済組合等	—	10,346	—	—	—	—	10,346	—	10,346	
17. 国家公務員災害補償	—	22,854	—	—	3,628	786	27,267	—	27,267	
18. 地方公務員等災害補償	—	7,752	—	—	—	—	7,752	—	7,752	
19. 旧公共企業体職員業務災害	855	110,848	—	1,117	—	—	112,819	—	112,819	
20. 国家公務員恩給	—	175,769	—	—	—	—	175,769	—	175,769	
21. 地方公務員恩給	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
公衆保健サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
22. 公衆衛生	—	—	—	518,278	232,574	—	750,852	—	750,852	
公的扶助及び社会福祉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
23. 生活保護	—	—	—	1,034,488	344,677	—	1,379,166	—	1,379,166	
24. 社会福祉	—	—	—	1,157,550	849,654	—	2,007,204	—	2,007,204	
戦争犠牲者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
25. 戦傷犠牲者	—	—	—	1,821,211	—	—	1,821,211	—	1,821,211	
総 計	16,303,680	18,840,207	—	12,689,200	2,584,356	2,254,140	60,322,149	11,139,573	71,461,722	

(単位: 百万円)

第6表 つづ き

	支 出									
	給 付					そ の 他				
	疾病・出産		業 務 災 害		年 金	失 業	家 族 手 当	医 療 以 外 の 現 物	現 金	計
	医 療	現 金	医 療	現 金						
社 会 保 險										
1. 健康保険	3,038,626	253,910	—	—	—	—	—	—	18,052	3,310,588
(A) 健康保険	2,264,459	183,726	—	—	—	—	—	—	16,029	2,464,214
(B) 国民健康保険	4,135,492	47,786	—	—	—	—	—	—	16,404	4,219,682
2. 退職者医療制度(再掲)	844,037	—	—	—	—	—	—	—	—	844,037
3. 老人年金基金	5,373,028	—	—	—	—	—	—	—	—	5,373,028
4. 厚生年金基金	—	—	—	—	9,628,350	—	—	—	—	9,628,350
5. 厚生年金基金	—	—	—	—	555,224	—	—	—	—	555,224
6. 国営年金基金	—	—	—	—	4,416,437	—	—	—	—	4,416,437
7. 国営年金基金	—	—	—	—	241,921	—	—	—	—	241,921
8. 船員年金基金	34,615	6,151	7,533	3,733	4,788	9,393	—	—	1,012	67,226
9. 農林漁業団体職員共済組合	—	—	—	—	218,797	—	—	—	—	218,797
10. 私立学校教職員共済組合	68,407	4,753	—	—	82,291	—	—	—	1,178	156,629
11. 雇用保険	—	—	—	—	—	980,355	—	—	—	980,355
12. 労働者災害補償保険	—	—	230,074	427,460	212,373	—	—	—	—	869,907
家族手当	—	—	—	—	—	—	145,437	—	—	145,437
13. 児童手当	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14. 国家公務員等共済組合	197,278	10,298	—	3,293	—	—	—	—	3,867	1,406,478
(A) 国家公務員等共済組合	98,845	5,258	—	8,547	1,191,743	—	—	—	1,243	1,265,554
(B) 旧公共企業体職員等共済組合	571,444	33,730	—	5,442	2,744,563	—	—	—	10,690	3,365,869
15. 地方公務員等共済組合	145	1,430	—	—	15,504	—	—	—	—	17,079
16. 旧令共済組合等	—	—	4,360	4,379	1,506	—	—	—	—	10,245
17. 国家公務員災害補償	—	—	6,656	11,173	2,944	—	—	—	—	20,773
18. 地方公務員等災害補償	—	—	104	7,616	32	—	—	—	—	7,752
19. 旧公共企業体職員業務災害	—	—	—	—	111,702	—	—	—	—	111,702
20. 旧国家公務員恩給	—	—	—	—	175,769	—	—	—	—	175,769
21. 地方公務員恩給	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22. 公衆衛生保健福祉	530,958	88,756	—	—	—	—	2,105	—	—	621,819
23. 生活福祉	767,201	167	—	—	—	—	—	—	578,303	1,345,671
24. 社会福祉	18,367	—	—	—	—	—	301,069	1,474,419	98,678	1,932,531
25. 戦争犠牲者	3,740	—	—	—	1,717,539	—	—	1,806	88,269	1,811,353
総 計	17,122,606	635,966	248,727	471,642	22,251,501	989,748	446,506	1,478,331	773,724	44,640,394

第6表 つづき (単位: 百万円)

社会保険	支			出		収 支 差
	管理費	その他	小計	他制度への移転	支出合計	
1. 健康保険						
(A) 政府管掌健康保険	57,243	92,461	3,460,292	1,160,029	4,620,321	215,847
(B) 組合管掌健康保険	104,645	391,039	2,959,897	1,115,627	4,075,524	321,738
2. 国民健康保険	198,466	265,603	4,683,751	1,611,020	6,294,770	195,847
退職者医療制度(再掲)	—	—	844,037	—	844,037	4,554
3. 老人保健	—	20,001	5,393,029	—	5,393,029	31,111
4. 厚生年金保険	39,541	147,332	9,815,224	3,563,797	13,379,021	4,605,268
5. 厚生年金基金	47,777	886	603,886	—	603,886	2,574,812
6. 国民年金基金	119,876	45,868	4,582,182	2,379,137	6,961,319	1,327,040
7. 農業者年金保険	3,872	2,341	248,134	—	248,134	△40,004
8. 船員保険	2,662	19,706	89,595	18,205	107,799	548
9. 農林漁業団体職員共済組合	2,670	386	221,854	67,276	289,130	46,103
10. 私立学校教職員共済組合	2,983	618	160,230	76,456	236,685	144,390
11. 雇用保険	67,264	576,625	1,624,243	—	1,624,243	482,561
12. 労働者災害補償保険	37,751	149,575	1,057,233	—	1,057,233	1,012,980
家族手当						
13. 児童手当	6,879	4,988	157,303	—	157,303	32,710
公務員						
14. 国家公務員等共済組合						
(A) 国家公務員共済組合	3,138	3,720	1,413,336	274,080	1,687,415	374,526
(B) 旧公共企業体職員等共済組合	1,555	1,853	1,268,962	128,791	1,397,753	26,068
15. 地方公務員等共済組合	19,583	752	3,386,204	737,717	4,123,921	1,538,021
16. 旧令共済組合等	274	4,865	22,218	—	22,218	63
17. 国家公務員災害補償	—	101	10,346	—	10,346	—
18. 地方公務員等災害補償	1,493	55	22,322	—	22,322	—
19. 旧公共企業体職員業務災害	—	—	7,752	—	7,752	—
20. 国家公務員恩給	1,117	—	112,819	—	112,819	—
21. 地方公務員恩給	—	—	175,769	—	175,769	—
公衆保健サービス						
22. 公衆衛生	2,364	126,669	750,852	—	750,852	—
公的扶助及び社会福祉						
23. 生活保護	33,495	—	1,379,166	—	1,379,166	—
24. 社会福祉	20,838	153,832	2,007,204	—	2,007,204	—
戦争犠牲者						
25. 戦災犠牲者	9,858	—	1,821,211	—	1,821,211	—
総計	785,345	2,009,276	47,435,015	11,132,133	58,567,148	12,894,574

注 1) この表は ILO 事務局による「社会保険費用調査」の基準に従って算出したものである。

2) 「老人保健」は医療、特定療養費の支給及び老人保健施設施設療養費の支出に関するもののみ計上されており、これらを除く保健事業に関するものは「公衆衛生」に計上されている。

3) 国民年金には福祉年金及び基礎年金を含む。

4) 公衆衛生には結核医療等の公費負担を含む。

5) 家族手当には、児童手当のほか、社会福祉中の児童扶養手当及び特別児童扶養手当を含む。

6) 四捨五入の関係で計に一致しない場合がある。

7) 0 は百万円単位に四捨五入するとゼロであることを示す。

備考 社会保険費用の項目説明

1. 収入項目

(1) 資産収入——利子、利息、配当金、施設利用料、賃貸料、財産処分益、償還差益等

(2) 他制度からの移転——政府管掌健康保険が組合管掌健康保険及び国民健康保険から受ける日雇拠出金、国民健康保険が医療保険各制度から受ける退職者医療分にかかる療養給付費交付金、老人保健が医療保険各制度から受ける医療費拠出金、国民年金が年金保険各制度から受ける基礎年金拠出金、年金保険各制度が国民年金から受ける基礎年金交付金等

(3) その他の収入——受取延滞金、損害賠償金、手数料、補助金、分担金、繰入金、繰越金、雑収入等

2. 支出項目

(1) 管理費——業務取扱費、事務費、事務所費、総務費、基金運営費、業務委託費、組合会費、旅費等

(2) 他制度への移転——医療保険各制度から日雇特別、退職者医療及び老人保健への拠出金、年金保険各制度の国民年金に対する基礎年金拠出金、国民年金の年金保険各制度に対する基礎年金交付金等

(3) その他の支出——支払基金事務費、施設整備費、保健施設費、福祉施設費、営繕費、組合費、保険料等還付金、負担金等

第7表 制度別社会保障給付費の推移

区分	年度	昭和45(1970)											平成元 (1989)
		50 (1975)	55 (1980)	56 (1981)	57 (1982)	58 (1983)	59 (1984)	60 (1985)	61 (1986)	62 (1987)	63 (1988)		
給付費 (百万円)	総計	3,523,908	24,604,398	27,357,797	29,948,900	31,901,628	33,579,394	35,643,986	38,588,557	40,654,610	42,277,669	44,640,393	
	医療保険	1,781,093	9,361,325	10,129,332	10,697,372	8,804,681	8,885,286	9,142,289	9,717,554	10,227,432	10,625,134	11,057,150	
	老人保健	—	—	—	226,647	3,297,053	3,594,625	4,056,844	4,419,219	4,733,700	5,057,697	5,457,648	
	年金保険	476,592	8,376,552	9,801,123	11,018,737	12,090,526	13,145,893	14,572,857	16,400,763	17,621,834	18,721,928	20,263,772	
	雇用保険	162,944	965,764	1,117,634	1,245,298	1,312,458	1,363,194	1,121,380	1,210,499	1,207,652	1,055,817	989,748	
	業務災害補償	126,975	592,388	632,947	790,210	812,130	845,141	869,174	892,712	894,803	903,452	912,410	
	家族手当	4,578	355,990	378,954	410,878	436,512	454,445	461,676	460,428	457,425	449,985	446,506	
	生活保護	274,293	1,155,310	1,236,304	1,336,779	1,400,891	1,462,479	1,502,711	1,471,032	1,432,475	1,367,435	1,345,671	
	社会福祉	128,778	1,421,711	1,530,922	1,608,068	1,151,925	1,189,280	1,258,579	1,341,193	1,369,816	1,416,025	1,531,464	
	公衆衛生	180,210	484,048	496,630	506,367	505,108	536,070	539,924	543,904	534,344	531,002	537,199	
恩給	319,993	1,700,853	1,834,593	1,909,317	1,905,024	1,887,569	1,902,298	1,914,670	1,935,588	1,899,800	1,865,089		
戦争犠牲者援護	68,452	190,457	199,358	199,227	185,320	215,412	216,254	216,583	239,541	249,394	233,736		
構成割合 (%)	総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	医療保険	50.5	38.0	37.0	35.7	27.6	26.5	25.6	25.2	25.2	25.1	24.8	
	老人保健	—	—	—	0.8	10.3	10.7	11.4	11.5	11.6	12.0	12.2	
	年金保険	13.5	34.0	35.8	36.8	37.9	39.7	40.9	42.5	43.3	44.3	45.4	
	雇用保険	4.6	3.9	4.1	4.2	4.1	4.1	3.1	3.1	3.0	2.5	2.2	
	業務災害補償	3.6	2.4	2.3	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0	
	家族手当	0.1	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	
	生活保護	7.8	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	3.8	3.5	3.2	3.0	
	社会福祉	3.7	5.8	5.6	5.4	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.4	
	公衆衛生	5.1	2.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.4	1.3	1.3	1.2	
恩給	9.1	6.9	6.7	6.4	6.0	5.6	5.6	5.0	4.8	4.5	4.2		
戦争犠牲者援護	1.9	0.9	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5		

(注) 1. 老人保健には医療を含む保健事業すべてが計上されている。

2. 家族手当には児童手当のほか、社会福祉中の児童扶養手当及び特別児童扶養手当を含む。

平成元年度社会保障給付費（概要）

概 要

社会保障給付費は44兆6,404億円

- ▷ 平成元年度社会保障給付費は、44兆6,404億円であり、対前年度伸び率は5.6%で、前年度の4.0%を上回っている。
- ▷ 社会保障給付費の対国民所得比は14.0%であり、前年度の14.1%より若干減少している。これは、国民所得の対前年度伸び率が6.3%を示し、社会保障給付費の伸び率5.6%を上回ったことによる。
- ▷ 国民1人当たりの社会保障給付費は362.2千円で、対前年度伸び率は5.2%となっている。

「年金」の構成割合、引き続き増大

- ▷ 社会保障給付費を「医療」、「年金」、「その他」に分類して、部門別にみると、「医療」が17兆3,713億円で対国民所得比5.5%、「年金」が22兆7,231億円で対国民所得比7.1%、「その他」が4兆5,459億円で対国民所得比1.4%である。
 - ▷ 社会保障給付費の部門別の構成割合をみると、「医療」が38.9%、「年金」が50.9%、「その他」が10.2%であり、「年金」の構成割合が前年度の50.2%から引き続き増大し、「医療」、「その他」の構成割合は、各々、前年度の39.1%、10.7%から若干減少している。
 - ▷ 「年金」の構成割合が増大した背景には、年金受給者数が前年度に比べ伸びていることにくわえ、平成元年度は、財政再計算に伴い厚生年金の標準報酬月額が再評価されたこと、及び、基礎年金単価が引き上げられたこと等が考えられる。
 - ▷ 「その他」の構成割合が減少した背景には、好景気により、失業率や保護率が下がり、雇用保険費や生活保護費などが減少していること等による。
- (注) 「その他」は、生活保護、児童手当、失業給付、社会福祉等からなる。

資 料

社会保障給付費の推移

年 度	社会保険給付費 (1)	対前年度 伸び率	国 民 所 得 (2)	対前年度 伸び率	(1)/(2)
昭和50年度	11兆6726億円	31.3%	123兆9907億円	10.2%	9.4%
55	24兆6044億円	12.3	199兆5902億円	9.5	12.3
60	35兆6440億円	6.1	259兆5898億円	6.6	13.7
61	38兆5886億円	8.3	269兆3947億円	3.8	14.3
62	40兆6546億円	5.4	281兆7375億円	4.6	14.4
63	42兆2777億円	4.0	299兆3566億円	6.3	14.1
平成元	44兆6404億円	5.6	318兆3424億円	6.3	14.0

1人当たり社会保障給付費の推移

年 度	1人当たり 社会保険給付費(1)	対前年度 伸び率	1人当たり 国民所得(2)	対前年度 伸び率
昭和50年度	104.3千円	29.7%	1,108.7千円	8.9%
55	210.2	11.5	1,706.1	8.7
60	294.5	5.5	2,145.9	5.9
61	317.2	7.7	2,215.3	3.2
62	332.5	4.8	2,305.7	4.1
63	344.3	3.5	2,439.6	5.8
平成元	362.2	5.2	2,584.3	5.9

社会保障給付費の部門別構成割合の推移

年 度	医 療	年 金	そ の 他
昭和50年度	48.7%	33.3%	18.0%
55	43.3	42.6	14.1
60	39.7	47.7	12.5
61	39.1	48.9	12.0
62	39.0	48.5	11.5
63	39.1	50.2	10.7
平成元	38.9	50.9	10.2

関 連 指 標

年 度	完 全 失 業 率	保 護 率 (人員)	年金受給者数 対前年度伸び率	年金スライド率
昭和60年度	2.6%	1.18	5.3%	3.4%
61	2.8	1.11	4.5	2.7
62	2.8	1.04	4.0	0.6
63	2.4	0.96	3.6	0.1
平成元	2.2	0.89	3.7	6.2

概 要

高齢者関係給付費は8.2%の伸び

- ▷ 高齢者関係給付費は 26兆1,474億円で、対前年度伸び率は 8.2%であり、前年度の 6.4%を上回っている。また、高齢者関係給付費の対前年度伸び率8.2%は、社会保障給付費の前年度伸び率5.6%を上回っている。
- ▷ 高齢者関係給付費の社会保障給付費に占める割合は58.6%であり、前年度の57.2%から増大し、引き続き増加傾向にあることを示している。
- (注) 高齢者関係給付費は、年金保険給付費、老人保健給付費（医療のみ）、老人福祉サービス給付費（老人保健関係給付費、在宅福祉サービス関係給付費）を合計したものである。

(参考) 欧米諸国との比較

- ▷ 我が国の社会保障給付費の対国民所得比14.0%は、アメリカ15.2%、イギリス25.0%、旧西ドイツ29.1%、フランス36.0%、スウェーデン39.7%に比較して低い水準にある。
- これは、主に、我が国の高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）がこれら欧米諸国と比較して低い水準にあることによると考えられる。
- ▷ 社会保障給付費の部門別構成割合において、「その他」の構成割合がこれら欧米諸国と比較して低くなっている。
- ▷ 「その他」の構成割合がこれら欧米諸国と比較して低くなっている背景として、
 - ① 我が国の場合、これら欧米諸国に比較して失業率が低いことを反映して、失業給付の規模は小さいものとなっていること、
 - ② 「その他」に含まれる給付は、各国の社会保障の構成により異なり、我が国に比べて、家族給付や公的扶助等の規模が大きい国があること、

(注) 社会保障給付費の欧米諸国との比較は、基本的に「The Cost of Social Security (ILO)」によっている。この資料は3年に一度、3年分をまとめて公表されており、また、公表時期が少し遅いこと等の事情により、我が国の最新の数値と同一年度で比較したりとか、毎年度、最新の数値に置き換えて比較することができない。今回、欧米諸国については1986年の数値を使用して、比較しているのは、このような事情による。

資 料

高齢者関係給付費の推移

年 度	高 齢 者 関 係 給 付 費 (1)	対前年度 伸び率	社 会 保 障 給 付 費 (2)	対前年度 伸び率	(1)/(2)
昭和50年度	3兆8875億円	45.3%	11兆6726億円	31.3%	33.3%
55	10兆7595億円	17.2	24兆6044億円	12.3	43.7
60	18兆9467億円	11.2	35兆6440億円	6.1	53.2
61	21兆1667億円	11.7	38兆5888億円	8.3	54.9
62	22兆7134億円	7.3	40兆6546億円	5.4	55.9
63	24兆1612億円	6.4	42兆2777億円	4.0	57.1
平成元	26兆1474億円	8.2	44兆6404億円	5.6	58.6

社会保障給付費の対国民所得比の国際比較 (1986年)

	社会保障給付費 の対国民所得比				高齢化率
	医 療	年 金	そ の 他		
日 本	14.0%	7.1%	1.4%	11.6%	
ア メ リ カ	15.2	8.5	2.6	12.1	
イ ン グ リ ス	25.0	10.0	9.1	15.3	
旧 西 ド イ ツ	29.1	14.0	7.3	15.1	
フ ラ ン ス	36.0	14.3	12.5	13.1	
スウェーデン	39.7	14.2	15.7	18.1	

(注) 日本は1989年度の数値である。

失業給付・家族手当・公的扶助等の対国民所得比の国際比較 (1986年)

	失業給付	家族手当	公的扶助等
日 本	0.3%	0.1%	0.2%
ア メ リ カ	0.5	...	1.0
イ ン グ リ ス	0.7	1.7	6.1
旧 西 ド イ ツ	2.5	0.9	0.9
フ ラ ン ス	2.8	3.4	4.3
スウェーデン	1.0	6.1	0.2

(注) 日本は1989年度の数値である。